

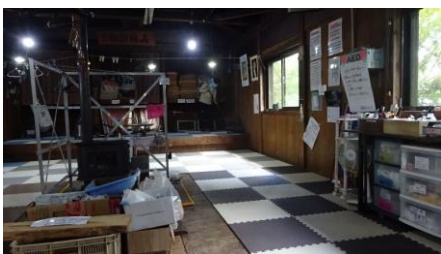
新宮山彦ぐるーぷ第2389回

行仙宿の巡回整備

◇実施日 9月21日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎、阪口雄二、須崎由香、梶野照雄、
村吉光夫、由井洋三 7名

午前9時半、登山口に着くと全員が揃っていた。村吉さんが持ち込んだ丸太などの段差材の量が多く、モノレールは2往復して運び上げた。沖崎、梶野がモノレールで、村吉さんは2回目の積み込みの為残り、他の4名は歩いて登りだす。



荷物を積み込む

再び登山口に

小屋内の掃除

終点のコマツハウスでザックなどの荷物を降ろし梶野一人で登山口へ下った。50cmほどの半割丸太が20本ほど、2.4mの丸太

15本くらいを荷台に積み、丸太の上に村吉さんを乗せて終点に向かった。終点には阪口君らが待っていて、丸太を降ろすのを手伝ってくれた。阪口君らは丸太を担いで小屋まで運んだが、長くて結構重いので、沖崎さんと二人で前後を持って小屋に向かった。



ベンチを交換

運び上げた丸太

本日の参加者

小屋に着き、丸太を降ろして作ってきたベンチを組み立てる。テールの東側、座面が腐ってきたベンチを外し、新しいベンチに取り換えた。須崎さんが掃除機を使いたいというので、発電機を動かすに向かったが、まだ慣れていない新しい発電機なので、始動に少し時間がかかった。チェーンソーを持って、小屋南の倒木を製材に行く。倒木は、先日3割ほど切り進めていたが、縦挽きは時間がかかり、一時間程度では終わらなかった。切っている途中で阪口君が「お昼ご飯です」と呼びに来てくれた。時計を見ると11時40分だった。小屋に戻って食事する。食後、沖崎さん等は行仙岳まで丸太運び。倒木の製材を終わらせたいので、一人残ってチェーンソーを動

かした。9割方切り終えたところで、行仙岳に行ったみんなが帰ってきた。お堂前で写真を撮り、私と、今日宿泊する村吉さんを残して、他の5人は下山。村吉さんは残りの丸太と段差材の防腐剤塗り。私は製材の続きを行った。チェーンソーに燃料を2回入れ、1.5リッターくらいを使って製材が完了した。3枚に縦挽きしたが、重くて一人では動かせず、現場に置いたままにした。プラーかウインチを使って引き上げようと思う。



倒木を製材

丸太に防腐剤を塗る

隙間をなくす

小屋に戻って管理棟と倉庫を閉め、荷物をまとめて下山した。直径8mmのキリがあつたので、コマツハウスに置いてあるヤマモモに10ヶ所ほど穴を開けてみたが、シイタケの駒が無くなっていて、打ち込むことはできなかった。あとで湯川君に聞くと、直径は9mm必要ということだったので、8mmでは小さすぎるようだ。駒は持ち帰って冷蔵庫で保管しているようだ。登山口で道路を横切る溝の蓋をずらして、タイヤが落ちそうな隙間を塞いだ。プラーで引っ張ると

簡単に動いたので、時間はかからなかった。

(記：梶野)

行動タイム

09:30 補給路登山口→09:50 コマツハウス→10:05 補給路登山口
↓11:05 行仙宿14:51→15:05 コマツハウス→15:30 補給路登山口